学校番号	J3026

令和８年度　グローバルスタディーズ

学年	3	週授業コマ数	2	授業時数(45 分)		標準授業時数(50 分)	○
使用教科書	① New Crown 3 ② なし						
副教材等	自主教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

① 新しい言語を学ぶことは決して簡単なことではありません。生徒の人数が多く、その言語の習得レベルの差が大きいクラスにおいては、特に難しくなります。お互いの前でミスをすることに対する恐怖は誰にでもあるものです。この授業は比較的少人数で行うものであり、間違いを恐れず、安心して学びを深めるクラスにしたいと願っています。

② このコースの学習方法は、探究アプローチによる「学習のためのユニバーサルデザイン」モデルに基づいています。このコースは、知識、コミュニケーション、スキルの関与、表現、および行動&表現の複数の手段を通じて学習を促進します。

2　学習の到達目標

① この授業の目標は、通常の英語授業で学んだ知識の理解を深めることにあります。少人数制の授業で個々に合わせた授業を展開していきますが、普段の授業よりも自由に、英語を用いて先生や友人と交流をしてほしいです。授業では４技能を使っていきますが、その中でもプロダクティブスキル（スピーキングとライティング）に傾注して取り組んでもらいますので、多様なクラスアクティビティを通して、積極性が養われるでしょう。また、何かについて書くという作業を多く行い、書き方の構成に慣れ親しんでもらうつもりです。自分や友人の文章を何度も見直すことで、原稿を推敲する重要性に気づくはずです。

② この授業は、国際化された文脈の中で数学を探求し、様々な文化や時代の調査を通して、日常的に使用する英語の語彙やフレーズの開発を促進することを目的としています。数学的、文化的に豊かになる機会を得るとともに、論理的、批判的、創造的思考のスキルを身につけ、国際的なさまざまな文脈の中で英語で問題を解決することができるようになります。

③ 生徒は、知識構築のための学習環境に参加し、自分自身の学習に積極的に参加し、自己管理し、協力し合うことができるようになります。学習問題は、学習者の足場を固め、スピーキング、リーディング、ライティング、リスニングを通じた英語の使用を促進するように意図的にデザインされています。この授業の終了時には、数学の語彙と簡単な英語のフレーズを日常的に実用的に使うことができるようになります。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨			

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名 Unit	学習内容 Contents	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知 (a)	思 (b)	主 (c)
1	1	① Present perfect continuous tense in writing and speaking、Learning how to write and edit speeches、mReader extensive reading program ② 文化的算数パズル パターン認識、論理的推論、問題解決、コミュニケーション（ブレインストーミングとアイデアの組み合わせ）、異なる表現モデルの使用、および問題へのアプローチとその解決策の記述方法を作成するために自分のアイデアを一般化するために、異なる文化の様々な論理パズルを探求し、向上させます。				
	2	① Passive form、Practicing presentation skills、mReader extensive reading program ② 歴史的・現代的な数システムの利用 過去から現在に至るまで、さまざまな数の体系がどのように使われてきたかを探り、グローバルな視点を通して数的感覚の基礎をより強固なものにします。				
	3	① Post-positive adjectives、Writing and editing book reports、mReader extensive reading program ② 文化的算数パズル パターン認識、論理的推論、問題解決、コミュニケーション（ブレインストーミングとアイデアの組み合わせ）、異なる表現モデルの使用、および問題へのアプローチとその解決策の記述方法を作成するために自分のアイデアを一般化するために、異なる文化の様々な論理パズルを探求し、向上させます。				
2	4	① 関係代名詞(Relative pronouns)、Practicing and writing/editing skits、mReader extensive reading program ② データ＆統計リテラシー データの様々な表現、メディアにおけるデータの操作方法を探求することで、データと統計のリテラシーを身につけます。				
	5	① 主格 (nominative case)、[which], [that], [who]、Writing and editing letters/emails、mReader extensive reading program ② 日常の四則演算と技術 二次方程式を理解し、モデル化するための技術的アプローチを探求し、G9 数学の中核となるこのトピックに実践的なアプローチを提供します。				
	6	① 目的格 (objective case)、[that], [which]、Writing and editing letters/emails、mReader extensive reading program ② データ＆統計リテラシー データの様々な表現、メディアにおけるデータの操作方法を探求することで、データと統計のリテラシーを身につけます。				
3	7	① Review all grammar points、Introduction to essay writing、mReader extensive reading program ② 類似性(プロポーション)、円と三角測量 日常的に使用する比率を理解し応用するために、テクノロジーを使ったモデリングを、ハンズオン・インタラクティブなアプローチで探求します。				

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度